



特集 「今、不動産業に求められる人材とは」

8月17日夜、銀座にて不動産業の各分野に携わる人を集め、

...これは、不動産学部が定員割れを起こしている事への提言、不動産業界に就事しているOBに対して情報提供を目的としている。

座談会出席者：道下(坂本ゼミ) 渡辺(森ゼミ) 山根(小泉ゼミ) 越後谷(斉藤広子ゼミ) 宋(川口ゼミ) 石川(川口ゼミ)

(石川)本年度、不動産学部の定員割れが始めて起きてしまいがちで、不動産学部が定員割れを起こしているOBの方々に自分たちが必要でない講義以外で必要と思える講義、不動産学部の外部へのアピール、新入社員としてほしい人材を提言していただきました。

(渡辺)10年前ぐらいに卒業したため、その後、学校には、緑風会等OB会にかかわる以外、あまりないため現状と比較しようがない。

(石川)しかし、10年前や5~6年前は定員以上の募集があった。今回、定員割れが起きる理由には何かあるかと思えます。

(山田)先生方は一人一人と話すよりも先生方で個人的にお話すると何の疑問も持ちません。

(石川)では、求められる人材はどんな方々が皆さんにお聞きし、それからどんな講義を開講したらいいかを考えていきたいと思えます。そこから現在の大学の講義に含まれているかどうかを考え提案して行きたいと思えます。

(渡辺)卒業後、緑風会に携わったことから、OBの中では、講義に出ていかなかった方が、大学時代ではあまり勉強をしていなかった方でも成功されています。そうすると大学の講義ではなくアルバイト、部活・サークルなどの他人とのコミュニケーションをいろいろと明確に行ってきた方が多いのでは。

(石川)そのような方は、大学は関係なく特殊な方だと思います。それは結論としてしまうと個々の問題となってしまうが、それも正解だと思えます。

(渡辺)以前、小泉先生とお話させていただいたときに、さまざまなコミュニケーションをとる講義だったり、プレゼンテーションだったり表現力をつける講義、同期でも同年代の人だとは限らないのでその方々とお話をしてくれることが必要だとおっしゃっていました。コミュニケーション、プレゼンテーションや交渉術を取り入れたほうがいいと思えます。

(石川)確かに、海外では、交渉術の講義はありますし、プレゼンテーションのための講義というもあります。私が大学院に入った際、川口先生は研究も大事だが、2時間でプレゼンテーションを学ばなければならないといわれました。学部では、教われないことを大学院で教えていただく必要があります。

(渡辺)自分の表現を磨き上げられるような講義は不動産業に携わるものとして必要だと思えますし、不動産の知識を学ぶだけではなく交渉術やコミュニケーション能力といった講義も必要だと思えます。

(石川)他の業界でも交渉術やプレゼンテーション能力というのは必要だと思いますし、知る範囲では、他の大学ではこのような講義はないかと思えます。

(山田)講義として行なうのが、ゼミで行なうのかでは指導方針が変わりますし、ゼミの先生方でゼミ方針がかわります。

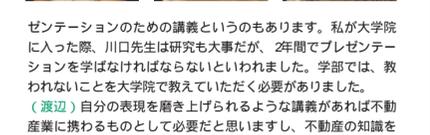
(石川)ゼミ形式ではゼミ生同士でプレゼンテーションを行なうことで、自分の研究を知ってもらい理解してもらうことで能力をつけることも可能です。

(山田)やはり、社会に出て表現をすることが相手に理解してもらうこと、相手に納得させることの難しさが感じられます。表現力についての講義とゼミで学んだことがないので、そのような講義があるとよいと思えます。

(石川)現在、仕事をしている会社は、不動産を購入するにあたり、社内の人に説明をしなければならないため、プレゼン

「今、不動産業に求められる人材とは」

本議題についてを話していただきました。



ゼンテーションのための講義というもあります。私が大学院に入った際、川口先生は研究も大事だが、2時間でプレゼンテーションを学ばなければならないといわれました。学部では、教われないことを大学院で教えていただく必要があります。

(渡辺)自分の表現を磨き上げられるような講義は不動産業に携わるものとして必要だと思えますし、不動産の知識を学ぶだけではなく交渉術やコミュニケーション能力といった講義も必要だと思えます。

(石川)他の業界でも交渉術やプレゼンテーション能力というのは必要だと思いますし、知る範囲では、他の大学ではこのような講義はないかと思えます。

(山田)講義として行なうのが、ゼミで行なうのかでは指導方針が変わりますし、ゼミの先生方でゼミ方針がかわります。

(石川)ゼミ形式ではゼミ生同士でプレゼンテーションを行なうことで、自分の研究を知ってもらい理解してもらうことで能力をつけることも可能です。

(山田)やはり、社会に出て表現をすることが相手に理解してもらうこと、相手に納得させることの難しさが感じられます。表現力についての講義とゼミで学んだことがないので、そのような講義があるとよいと思えます。

(石川)現在、仕事をしている会社は、不動産を購入するにあたり、社内の人に説明をしなければならないため、プレゼン

「今、不動産業に求められる人材とは」

ーションに必要な資料を作成している。前職では、外部の人にプレゼンテーションを行っていたので表現力というのは必要だと思えます。

(宋)私が、大学で学んで一番役に立ったのは、宅建の勉強である。たとえば、鑑定理論がわかっているだけでも鑑定評価書を書くにはいいのだが、不動産理論とかを学んでおかないと、実務をどうやるかは実際に携わらないとわからないと思えます。

(渡辺)インターンなど実務がわかるような場を提供できればいいと思えます。

(宋)あるいは、模擬不動産会社とか模擬ファンドなど「日経Stockリーグ」の様な講義で教えていくといいと思えます。不動産実務に携わられる先生方が少ないと思えます。

(石川)基礎的な講義については、実際に携わってなくてもいいと思えます。私は大学で学んだファイナンス理論を今でも使っていますし、ファイナンス用語など、ファンド会社や投資会社で使われておられます。ファイナンス理論などは、社会人になってから学ぶのが大変なので、少なくともEXCELで理解や分析ができるようになっていると実務では苦勞せずに取り扱えると思えます。

(石川)私や道下さん、宋さんのいる会社は、ファイナンスの知識があっても不動産の知識がないと業務を行なうことができません。逆に言うと不動産の知識を持っていてファイナンスの知識を持っているプレイヤーは重要されます。

(道下)やはり、実務と基礎的な両立が大切だと思えます。

(山田)先生方はそのような重要な部分を知っておられるのでしょうか。

(石川)カリキュラムだけを見ると知らないと思えます。

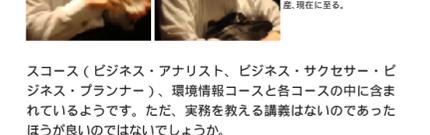
(全員)そうですね。

(山田)学生にとってそのような知識が必要であることを実務経験者から教わらないと育たないかと思えます。

(渡辺)すべてとは言いませんが、やはり実務経験者からの講義は必要だと思えます。先程のバランスの話など、実務者でないといけません。

(宋)現在のカリキュラムというのは、資格を取れるようなコースを設定しているのでしょうか。

(道下)鑑定・金融コース、環境デザインコース、経営ビジネ



スコース(ビジネス・アナリスト、ビジネス・サクセサー・ビジネス・プランナー)、環境情報コースと各コースの中に含まれているようにです。ただ、実務を教える講義はないのであったほうが良いのではないのでしょうか。

(石川)不動産学部として実学を教えるべきが学術を教えるべきかが問題であるが不動産というのは実学が重要であり、不動産は商品とイコールなので実践も絡めて行なうことが重要ではないかと思えますし、学術のみであると魅力が薄いと思えます。

(宋)不動産は実学であるので、その先生方はアカデミックからそのまま教える立場になっているので、われわれOBが協力して後輩に教える必要はないかと思えます。

(石川)そうしますと、例えば、ここにいる6名で90分の講義を8時間行なうこともあればいい講義になると思えます。自分たちが経験したことや実務を話せば、それが役に立ちます。

(山田)学生時代の講義を聞いていたかという役に立つのかははっきりとはわからないので役に立つかわれば、学生自身がどこに進むべきかわかってくると思えます。

(渡辺)ご質問で同じ会社の後輩の評価はお聞きしていますか。

(越後谷)後輩の評価は耳にしないのですが、先輩方の評価はお聞きしています。現在の先輩方の中では、店長代理までなっている人で、10年内で店長代理になる人は少ないです。

(石川)現在、前職の職場では、後輩がいるのですが、経済学部の方なので不動産学部の後輩はいません。

(山田)スタートや東急リパブルといったところには就職される方は多いと思えます。

(越後谷)私の実家の近くにスタートがありまして、ゼミの同期がおりて早い段階で、店長になったと聞いております。

(渡辺)仲介で求められる人材というのは、どんな方ですか。

(宋)やはり、言葉使いが丁寧ですが、

(越後谷)仲介会社ではありますが、またまた、販売に携わることができ、そこで販売代理店の方のシャベリ方から学びました。

「今、不動産業に求められる人材とは」

仲介で求められる人材としては、提案力やネットワークが必要だと思えます。

(宋)お聞きしていて言葉使いも講義が必要だと思えます。

(石川)ホスピタリティーリズムにはそのような講義があったと思えます。

(越後谷)私が営業職についたきっかけというのは、ゼミの先生方がバナホウ営業マンをゼミの時間に呼んでいただきお話を聞いたことです。先生方でそのような方々を呼んで接する機会を作ることも大事ではないかと思えます。

(渡辺)他社からも聞くという人は少ないかと思えます。

(石川)それは育った環境にあるかと思えます。

(越後谷)今年などの新卒に対しては、獲得をした人材なので丁寧に扱うことがあります。

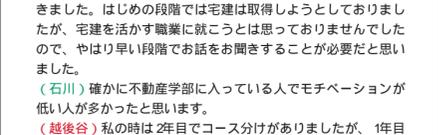
(石川)前職ではありますが、現在、中途の転職率が高いという理由で新卒を丁寧に扱うことでよりミドルクラス(30代)がやめたい傾向にあります。

(越後谷)新卒よりも中途を大事に扱うべきで、絶対、いい仕事を生む人材であると思えます。

(渡辺)取上げさせていただきますのも上関係や顧客に対しての、当たり前なマナーなど社会に出て学ぶのではなく、学校の場で学ぶ環境を作ることも不動産の知識だけでなく必要で、教える場として例えば、インターンシップやゼミの上下関係など先輩に接する場を設ける必要があるかと思えます。

(山田)勉強以外で魅力的な先生方が段々少なくなっているような気がします。

(石川)斉藤広子先生はマンション管理で旗を掲げて現在、先頭に立って行なっています。目の目を見ないようには斉藤広子先生



左:山田宏美 2009年明海大学大学院不動産学専攻修士課程前期終了、必履研究室 兼 2005年山田宏美土地家屋調査士事務所所属現在に至る。右:越後谷綾子 2002年明海大学卒業 西暦1977年生まれ 2010年三井のリハウスに就職する、現在に至る。

「今、不動産業に求められる人材とは」

生が築き上げてこれにより大きくなったと思えます。退職された柳先生も環境を法律のアプローチから研究していましたが、ちょうどそのような時代がやって着ました。残念ながら、明海大学を退職してしまいました。川口先生も不動産金融誌の第一読者を退稿が、当時の雑誌記者とかと話して「砂漠一人で歩いているような感じ」は雑誌記者とかと話して「砂漠一人で歩いているような感じ」がなくてよかったと思われているのではないのでしょうか。ホスピタリティーのようにマナーなどの講義を取り入れることがアピールとして学生の魅力と感じると思えます。

(渡辺)不動産学部にもマナーやコミュニケーションといった講義はできないのでしょうか。

(石川)ホスピタリティーにそのような講義があるので不動産学部生にも受けられるようなシステムを作っていたらいいのではないのでしょうか。宅建やその他の資格を取得し、不動産学、ビジネスマナーを学んでいけば、新卒が不動産営業を行なうには強みだと思います。それ以外のことに関してはやはり皆さんも思っているとおり、社会に出てから学ぶのが十分です。

(山田)しかし、宅建に関して、私達が学生の時から先生方に学生時代に宅建を取得するよう言われていたが、本間向窓会緑風会代表からお聞きしたのが学部生時代に取得をする方が年々減っている傾向にあり、学生時に取得できるように緑風塾を上げたというわけがあります。先生卒業生が学生に伸び率が悪いのも学生の意欲がないのではないでしょうか。

(石川)宅建の取得者数の上にもTAC等の専門学校と組み1年間の講義として取り入れ単位を2つ設けること、他の単位に影響を与えることはないので講義として必要ではないでしょうか。

(山田)以前、講義があると聞いていましたが

(道下)入学して1年目の学生が、不動産学部に入ったにもかかわらず、不動産に進むかというわけではないかと思えます。

(石川)不動産業に進むというモチベーションをあげることは、先ほど、越後谷さんからお話があったようにビジネスマンに合わせてあげ、早期にお話を聞かせることが重要だと思えます。

(越後谷)私も早期にビジネスマンにお会いしお話を聞いたほうがいいと思えます。私は自身は3年のゼミの時にお話を聞かせていただきましたので

「今、不動産業に求められる人材とは」

(山田)3年でいいと思えます。

(越後谷)アルバイトでサービス業をやっているR-Eビジネスに携わりたかったら高価な商品を扱うこと、やはり3年のゼミのお話をお聞きしたことで、新築を売ることには限られているのいろいろなものを取り扱える仲介がいいと思えます。今に至っております。私自身、宅建を取得するのに1年目で取得ができました。2年目で宅建を目指す仲間ができて、3年目で取得ができました。はじめの段階では宅建は取得できずともありましたが、宅建を活かす職業に就こうとは思ってありませんでしたので、やはり早い段階でお話を聞かせることが必要だと思えます。

(石川)確かに不動産学部に入っている人がモチベーションが低い人が多かったと思えます。

(越後谷)私の時は2年目でコース分けがりましたが、1年目でコースでの説明やコース分けがあまりお話を聞かずに不動産業に進まない人でもそのような仕事をすればいいかと思えます。早い段階でイメージをつけさせることが必要だと思えます。

(道下)不動産学部から不動産に入る人が多く、実際上、就職活動をし、不動産業界に入る人が多いと思えます。

お話をあがっているようにイメージを早い段階でつけさせるたり、宅建を取得させるといっては、早期に、不動産業に携わっている人にくることが必要だと思えます。

(石川)確かに、高校卒業をすべくに不動産業に携わりたいたいと思っている人は多いかと思えます。

(宋)定員割れということに対して、もともと定員が多いのではないのでしょうか。

(山田)少数精鋭で昔は500人ぐらいでした。

(宋)500人も不動産屋さんは必要ないと思えます。たしかに不動産として仲介としてネットワークが必要であるが、500人も入るとバイが大きくなりすぎてフィーが少なくなってしまう。しかし、不動産ファイナンスに携わる人でドキュメンテーションができる人は多いほうがいいです。

「今、不動産業に求められる人材とは」

生が築き上げてこれにより大きくなったと思えます。退職された柳先生も環境を法律のアプローチから研究していましたが、ちょうどそのような時代がやって着ました。残念ながら、明海大学を退職してしまいました。川口先生も不動産金融誌の第一読者を退稿が、当時の雑誌記者とかと話して「砂漠一人で歩いているような感じ」は雑誌記者とかと話して「砂漠一人で歩いているような感じ」がなくてよかったと思われているのではないのでしょうか。ホスピタリティーのようにマナーなどの講義を取り入れることがアピールとして学生の魅力と感じると思えます。

(渡辺)不動産学部にもマナーやコミュニケーションといった講義はできないのでしょうか。

(石川)ホスピタリティーにそのような講義があるので不動産学部生にも受けられるようなシステムを作っていたらいいのではないのでしょうか。宅建やその他の資格を取得し、不動産学、ビジネスマナーを学んでいけば、新卒が不動産営業を行なうには強みだと思います。それ以外のことに関してはやはり皆さんも思っているとおり、社会に出てから学ぶのが十分です。

(山田)しかし、宅建に関して、私達が学生の時から先生方に学生時代に宅建を取得するよう言われていたが、本間向窓会緑風会代表からお聞きしたのが学部生時代に取得をする方が年々減っている傾向にあり、学生時に取得できるように緑風塾を上げたというわけがあります。先生卒業生が学生に伸び率が悪いのも学生の意欲がないのではないでしょうか。

(石川)宅建の取得者数の上にもTAC等の専門学校と組み1年間の講義として取り入れ単位を2つ設けること、他の単位に影響を与えることはないので講義として必要ではないでしょうか。

(山田)以前、講義があると聞いていましたが

(道下)入学して1年目の学生が、不動産学部に入ったにもかかわらず、不動産に進むかというわけではないかと思えます。

(石川)不動産業に進むというモチベーションをあげることは、先ほど、越後谷さんからお話があったようにビジネスマンに合わせてあげ、早期にお話を聞かせることが重要だと思えます。

(越後谷)私も早期にビジネスマンにお会いしお話を聞いたほうがいいと思えます。私は自身は3年のゼミの時にお話を聞かせていただきましたので

「今、不動産業に求められる人材とは」

生が築き上げてこれにより大きくなったと思えます。退職された柳先生も環境を法律のアプローチから研究していましたが、ちょうどそのような時代がやって着ました。残念ながら、明海大学を退職してしまいました。川口先生も不動産金融誌の第一読者を退稿が、当時の雑誌記者とかと話して「砂漠一人で歩いているような感じ」は雑誌記者とかと話して「砂漠一人で歩いているような感じ」がなくてよかったと思われているのではないのでしょうか。ホスピタリティーのようにマナーなどの講義を取り入れることがアピールとして学生の魅力と感じると思えます。

(渡辺)不動産学部にもマナーやコミュニケーションといった講義はできないのでしょうか。

(石川)ホスピタリティーにそのような講義があるので不動産学部生にも受けられるようなシステムを作っていたらいいのではないのでしょうか。宅建やその他の資格を取得し、不動産学、ビジネスマナーを学んでいけば、新卒が不動産営業を行なうには強みだと思います。それ以外のことに関してはやはり皆さんも思っているとおり、社会に出てから学ぶのが十分です。

(山田)しかし、宅建に関して、私達が学生の時から先生方に学生時代に宅建を取得するよう言われていたが、本間向窓会緑風会代表からお聞きしたのが学部生時代に取得をする方が年々減っている傾向にあり、学生時に取得できるように緑風塾を上げたというわけがあります。先生卒業生が学生に伸び率が悪いのも学生の意欲がないのではないでしょうか。

(石川)宅建の取得者数の上にもTAC等の専門学校と組み1年間の講義として取り入れ単位を2つ設けること、他の単位に影響を与えることはないので講義として必要ではないでしょうか。

(山田)以前、講義があると聞いていましたが

(道下)入学して1年目の学生が、不動産学部に入ったにもかかわらず、不動産に進むかというわけではないかと思えます。

(石川)不動産業に進むというモチベーションをあげることは、先ほど、越後谷さんからお話があったようにビジネスマンに合わせてあげ、早期にお話を聞かせることが重要だと思えます。

(越後谷)私も早期にビジネスマンにお会いしお話を聞いたほうがいいと思えます。私は自身は3年のゼミの時にお話を聞かせていただきましたので

「今、不動産業に求められる人材とは」

生が築き上げてこれにより大きくなったと思えます。退職された柳先生も環境を法律のアプローチから研究していましたが、ちょうどそのような時代がやって着ました。残念ながら、明海大学を退職してしまいました。川口先生も不動産金融誌の第一読者を退稿が、当時の雑誌記者とかと話して「砂漠一人で歩いているような感じ」は雑誌記者とかと話して「砂漠一人で歩いているような感じ」がなくてよかったと思われているのではないのでしょうか。ホスピタリティーのようにマナーなどの講義を取り入れることがアピールとして学生の魅力と感じると思えます。

(渡辺)不動産学部にもマナーやコミュニケーションといった講義はできないのでしょうか。

(石川)ホスピタリティーにそのような講義があるので不動産学部生にも受けられるようなシステムを作っていたらいいのではないのでしょうか。宅建やその他の資格を取得し、不動産学、ビジネスマナーを学んでいけば、新卒が不動産営業を行なうには強みだと思います。それ以外のことに関してはやはり皆さんも思っているとおり、社会に出てから学ぶのが十分です。

(山田)しかし、宅建に関して、私達が学生の時から先生方に学生時代に宅建を取得するよう言われていたが、本間向窓会緑風会代表からお聞きしたのが学部生時代に取得をする方が年々減っている傾向にあり、学生時に取得できるように緑風塾を上げたというわけがあります。先生卒業生が学生に伸び率が悪いのも学生の意欲がないのではないでしょうか。

(石川)宅建の取得者数の上にもTAC等の専門学校と組み1年間の講義として取り入れ単位を2つ設けること、他の単位に影響を与えることはないので講義として必要ではないでしょうか。

(山田)以前、講義があると聞いていましたが

(道下)入学して1年目の学生が、不動産学部に入ったにもかかわらず、不動産に進むかというわけではないかと思えます。

(石川)不動産業に進むというモチベーションをあげることは、先ほど、越後谷さんからお話があったようにビジネスマンに合わせてあげ、早期にお話を聞かせることが重要だと思えます。

(越後谷)私も早期にビジネスマンにお会いしお話を聞いたほうがいいと思えます。私は自身は3年のゼミの時にお話を聞かせていただきましたので

「今、不動産業に求められる人材とは」

生が築き上げてこれにより大きくなったと思えます。退職された柳先生も環境を法律のアプローチから研究していましたが、ちょうどそのような時代がやって着ました。残念ながら、明海大学を退職してしまいました。川口先生も不動産金融誌の第一読者を退稿が、当時の雑誌記者とかと話して「砂漠一人で歩いているような感じ」は雑誌記者とかと話して「砂漠一人で歩いているような感じ」がなくてよかったと思われているのではないのでしょうか。ホスピタリティーのようにマナーなどの講義を取り入れることがアピールとして学生の魅力と感じると思えます。

(渡辺)不動産学部にもマナーやコミュニケーションといった講義はできないのでしょうか。

(石川)ホスピタリティーにそのような講義があるので不動産学部生にも受けられるようなシステムを作っていたらいいのではないのでしょうか。宅建やその他の資格を取得し、不動産学、ビジネスマナーを学んでいけば、新卒が不動産営業を行なうには強みだと思います。それ以外のことに関してはやはり皆さんも思っているとおり、社会に出てから学ぶのが十分です。

(山田)しかし、宅建に関して、私達が学生の時から先生方に学生時代に宅建を取得するよう言われていたが、本間向窓会緑風会代表からお聞きしたのが学部生時代に取得をする方が年々減っている傾向にあり、学生時に取得できるように緑風塾を上げたというわけがあります。先生卒業生が学生に伸び率が悪いのも学生の意欲がないのではないでしょうか。

(石川)宅建の取得者数の上にもTAC等の専門学校と組み1年間の講義として取り入れ単位を2つ設けること、他の単位に影響を与えることはないので講義として必要ではないでしょうか。

(山田)以前、講義があると聞いていましたが

(道下)入学して1年目の学生が、不動産学部に入ったにもかかわらず、不動産に進むかというわけではないかと思えます。

(石川)不動産業に進むというモチベーションをあげることは、先ほど、越後谷さんからお話があったようにビジネスマンに合わせてあげ、早期にお話を聞かせることが重要だと思えます。

(越後谷)私も早期にビジネスマンにお会いしお話を聞いたほうがいいと思えます。私は自身は3年のゼミの時にお話を聞かせていただきましたので

「今、不動産業に求められる人材とは」

生が築き上げてこれにより大きくなったと思えます。退職された柳先生も環境を法律のアプローチから研究していましたが、ちょうどそのような時代がやって着ました。残念ながら、明海大学を退職してしまいました。川口先生も不動産金融誌の第一読者を退稿が、当時の雑誌記者とかと話して「砂漠一人で歩いているような感じ」は雑誌記者とかと話して「砂漠一人で歩いているような感じ」がなくてよかったと思われているのではないのでしょうか。ホスピタリティーのようにマナーなどの講義を取り入れることがアピールとして学生の魅力と感じると思えます。

(渡辺)不動産学部にもマナーやコミュニケーションといった講義はできないのでしょうか。

(石川)ホスピタリティーにそのような講義があるので不動産学部生にも受けられるようなシステムを作っていたらいいのではないのでしょうか。宅建やその他の資格を取得し、不動産学、ビジネスマナーを学んでいけば、新卒が不動産営業を行なうには強みだと思います。それ以外のことに関してはやはり皆さんも思っているとおり、社会に出てから学ぶのが十分です。

(山田)しかし、宅建に関して、私達が学生の時から先生方に学生時代に宅建を取得するよう言われていたが、本間向窓会緑風会代表からお聞きしたのが学部生時代に取得をする方が年々減っている傾向にあり、学生時に取得できるように緑風塾を上げたというわけがあります。先生卒業生が学生に伸び率が悪いのも学生の意欲がないのではないでしょうか。

(石川)宅建の取得者数の上にもTAC等の専門学校と組み1年間の講義として取り入れ単位を2つ設けること、他の単位に影響を与えることはないので講義として必要ではないでしょうか。

(山田)以前、講義があると聞いていましたが

(道下)入学して1年目の学生が、不動産学部に入ったにもかかわらず、不動産に進むかというわけではないかと思えます。

(石川)不動産業に進むというモチベーションをあげることは、先ほど、越後谷さんからお話があったようにビジネスマンに合わせてあげ、早期にお話を聞かせることが重要だと思えます。

(越後谷)私も早期にビジネスマンにお会いしお話を聞いたほうがいいと思えます。私は自身は3年のゼミの時にお話を聞かせていただきましたので

「今、不動産業に求められる人材とは」

生が築き上げてこれにより大きくなったと思えます。退職された柳先生も環境を法律のアプローチから研究していましたが、ちょうどそのような時代がやって着ました。残念ながら、明海大学を退職してしまいました。川口先生も不動産金融誌の第一読者を退稿が、当時の雑誌記者とかと話して「砂漠一人で歩いているような感じ」は雑誌記者とかと話して「砂漠一人で歩いているような感じ」がなくてよかったと思われているのではないのでしょうか。ホスピタリティーのようにマナーなどの講義を取り入れることがアピールとして学生の魅力と感じると思えます。

(渡辺)不動産学部にもマナーやコミュニケーションといった講義はできないのでしょうか。

(石川)ホスピタリティーにそのような講義があるので不動産学部生にも受けられるようなシステムを作っていたらいいのではないのでしょうか。宅建やその他の資格を取得し、不動産学、ビジネスマナーを学んでいけば、新卒が不動産営業を行なうには強みだと思います。それ以外のことに関してはやはり皆さんも思っているとおり、社会に出てから学ぶのが十分です。

(山田)しかし、宅建に関して、私達が学生の時から先生方に学生時代に宅建を取得するよう言われていたが、本間向窓会緑風会代表からお聞きしたのが学部生時代に取得をする方が年々減っている傾向にあり、学生時に取得できるように緑風塾を上げたというわけがあります。先生卒業生が学生に伸び率が悪いのも学生の意欲がないのではないでしょうか。

(石川)宅建の取得者数の上にもTAC等の専門学校と組み1年間の講義として取り入れ単位を2つ設けること、他の単位に影響を与えることはないので講義として必要ではないでしょうか。

(山田)以前、講義があると聞いていましたが

(道下)入学して1年目の学生が、不動産学部に入ったにもかかわらず、不動産に進むかというわけではないかと思えます。

(石川)不動産業に進むというモチベーションをあげることは、先ほど、越後谷さんからお話があったようにビジネスマンに合わせてあげ、早期にお話を聞かせることが重要だと思えます。

(越後谷)私も早期にビジネスマンにお会いしお話を聞いたほうがいいと思えます。私は自身は3年のゼミの時にお話を聞かせていただきましたので

「今、不動産業に求められる人材とは」

生が築き上げてこれにより大きくなったと思えます。退職された柳先生も環境を法律のアプローチから研究していましたが、ちょうどそのような時代がやって着ました。残念ながら、明海大学を退職してしまいました。川口先生も不動産金融誌の第一読者を退稿が、当時の雑誌記者とかと話して「砂漠一人で歩いているような感じ」は雑誌記者とかと話して「砂漠一人で歩いているような感じ」がなくてよかったと思われているのではないのでしょうか。ホスピタリティーのようにマナーなどの講義を取り入れることがアピールとして学生の魅力と感じると思えます。

(渡辺)不動産学部にもマナーやコミュニケーションといった講義はできないのでしょうか。

(石川)ホスピタリティーにそのような講義があるので不動産学部生にも受けられるようなシステムを作っていたらいいのではないのでしょうか。宅建やその他の資格を取得し、不動産学、ビジネスマナーを学んでいけば、新卒が不動産営業を行なうには強みだと思います。それ以外のことに関してはやはり皆さんも思っているとおり、社会に出てから学ぶのが十分です。

(山田)しかし、宅建に関して、私達が学生の時から先生方に学生時代に宅建を取得するよう言われていたが、本間向窓会緑風会代表からお聞きしたのが学部生時代に取得をする方が年々減っている傾向にあり、学生時に取得できるように緑風塾を上げたというわけがあります。先生卒業生が学生に伸び率が悪いのも学生の意欲がないのではないでしょうか。

(石川)宅建の取得者数の上にもTAC等の専門学校と組み1年間の講義として取り入れ単位を2つ設けること、他の単位に影響を与えることはないので講義として必要ではないでしょうか。

(山田)以前、講義があると聞いていましたが

(道下)